



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

15号

令和2年4月7日

六ツ美西部小学校長
山本 則夫

校長室の窓からは、真剣なまなざしで学ぶ子供たちの姿、明るく元気に遊ぶ子供たちの姿を見ることができます。

六ツ美西部小学校の校長の山本則夫です。本年度で2年目となります。昨年度末は、本校職員の不祥事により保護者の皆様、学区の皆様にご心配、御迷惑をおかけし、たいへん申し訳ありませんでした。皆様からの信頼回復に向け、職員一同、精一杯、子供たちの教育に取り組めます。

不定期ではありますが、子供たちの様子や学校の取り組みなどを、校長通信「校長室の窓から」でお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【入学式 校長式辞】

一年生の皆さん 入学おめでとうございます。私は、六ツ美西部小学校の校長の山本則夫です。今日は、このヤギさんと一緒にお話を聞いてもらいます。この子は、2月に生まれたばかりの赤ちゃんです。

さて、問題です。今からいうものが何か考えてください。それは、このヤギさんも持っています。みんなも持っています。校長先生も持っています。

でも、それは、みんな一人に一つずつしか持っていません。何かわかるかなあ。～答えは、「いのち」です。～

今日は、みんなに一つだけお願いがあります。それは、みんなが、持っているたったひとつの「命を大切にすること」です。自分の命だけじゃないよ。お友達の命も大切にしてくださいね。

命を大切にすることは、難しいことではありません。自分やお友達を傷つけないということです。もし、みんなが、交通事故にあっってしまったら自分を傷つけてしまいますね。お友達の悪口を言ったり、たたいたりしたらお友達を傷つけてしまうね。

毎日元気よく学校に来て、みんなと仲良くすることが命を大切にすることです。

保護者の皆さま、お子様のご入学、誠にありがとうございます。今、世界では、新型コロナウイルスが猛威を振るい、その影響で、各地でさまざまなイベントが中止や自粛に追い込まれています。本校の入学式も例年とは大きく形を変えての開催となりました。

本校では、昨年「命の教育」に取り組んでいます。子供たちに、命にかかわる授業や体験活動を通して、命のかけがえのなさ、命のつながり、生きる喜びを実感させたいと考えています。そして、自他の命を尊重することができる子供の育成を目指していきます。

これから始まる六年間の小学校生活の中で子供たちは、心も体も大きく成長します。しかし、時には迷ったり、悩んだり、壁にぶつかることもあるかと思っております。そんなとき、私たち教職員一同、力を合わせ、最大の愛情を注いで、子供たちの教育に当たる所存でございます。

笑顔で「いってらっしゃい」と子供を送り出してください。明るく「ただいま」と、帰ってくる子供たちを私たちは育てていきます。どうぞ、本校の教育に御理解と御協力をお願いいたします。



令和2年4月6日 岡崎市立六ツ美西部小学校長 山本 則夫